

オールド／ニュー準備室 vol.19

さて、唐突ではありますが、かわだ新書プロジェクトの総括展「Documents-old/new-」まで約1週間となり、この「オールド／ニュー準備室」も「Documents-old/new-」が開催されればその役目も終るということで、勝手ながら、今回を持ちまして「オールド／ニュー準備室」を終了させて頂こうと考えています。

今、思えば、vol.1で書いたような「作家が作品を制作している現場・状況さえも「公開制作」というひとつの「美術作品」として捉え直し造形する」という試みが実践されたのかどうかあやふやなところではあるのですが、このような行為は誰が見ているのか（誰も見ていないかもしれないことも含めて）予想がつかないだけに、ある部分、僕は自分自身に向けて「オールド／ニュー準備室」を公開していたという側面があったのが正直なところで、そう考えると「オールド／ニュー準備室」とは、作品の制作状況をできる限り客観的に見るための装置だったのかもしれない。

ですから、この「オールド／ニュー準備室」は他人に読まれたり見られたりすることを前提としながらも、その「他人」の中に僕は僕自身を含み、そして、僕は僕自身に向けてこのページを借りて制作状況を眺めていたともいうことができるのでしょ。

では、最後になりますが、かわだ新書プロジェクトの作品のひとつでもある、総括展「Documents-old/new-」のDMを公開して「オールド／ニュー準備室」を終ろうと思います。

それでは皆様、長い間ありがとうございました。今後は新たなページを設けて「Documents-old/new-」の報告をしていけたらと思っています。それでは、またその時まで……。

